

教の割據する所と爲れば、此等各種族内には、多少教育を施したる者ありしならんも、事蹟今詳かならず。

然れども纔に種々の口碑記録に徴し且つ現況を視察し、少しく窺知し得べきものは、回部の教育なりとす。蓋し回部には、古來學校の設置ありて、凡そ男子六七歳に至れば、之に入れて教育を託したり。故に都會の地には、大抵一二の學校あらざるは無きも、其の校舎及維持の方法、教師、學科目等を見るに、學校は總て寺院の管理に屬し、經費は寄納資本金を以てし、資本金なき所は、住民自ら醸出して支辨せしが如し。而して教師には回教僧(阿渾)を擧げ、教科目は最初大要左の如き主意に成れる、詩句の誦讀を以て教育を始む。

慈悲深き神よ、願くは汝の奴隸にして、哥蘭(經文)念誦を渴望する「ムスルマン」の心を覺せよ。此の「ムスルマン」は常に罪過多く、衷心切に汝の保護を仰ぐ。

然る後マホメットの經文に基き、其の誦讀及解釋を以て主とし、兼て固有の文字を習はしめ、凡そ五六年にして、業を卒ゆるものとせり。而も女子は、一切入學すること無し。